

大分県 高校入試情報

令和7年度大分県入試の全体傾向

●入試問題の構成と特色

○物理・化学・生物・地学の各分野から1問ずつと、小問集合1問の計5問で構成されている。

●出題傾向について

○実験、観察を中心とした基礎的な事項が主に問われているが、計算問題や作図問題、短文記述問題など、思考力の問われる問題も出題されている。

★大分県の入試は、『理科の新研究』でバッチリ！

■ 計算問題の出題

・計算問題が毎年出題されている。基本公式をしっかりと覚えておく必要がある。

新研究で対策！

- 「即効チェック4 重要計算32」(p.172～173)と「入試実戦講座2 公式・計算問題」(p.180～181)で、重要な公式や法則を用いた計算問題の練習ができます。
- 「即効チェック5 グラフ10」(p.174～175)と「入試実戦講座3 グラフ問題」(p.182～183)で、グラフを用いた計算問題に取り組みます。

■ 思考力問題の出題

・思考力が必要な問題が出題されている。基本事項を理解した上で、色々なパターンの問題について練習しておく必要がある。

新研究で対策！

- B問題では、最新入試問題で思考力問題の練習ができます。
- 「入試実戦講座 総合問題」(p.192～203)では、全学年内容で思考力を問う問題を精選して出題しています。

★新研究で出題した大分県の入試問題(令和7年度)

◆p.31 大問2「光の性質②」

令和7年度大分県入試では、
計算問題が出題されました。
重要な公式をおさえておきましょう。



★大分県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

出題内容別の傾向	単元名／項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	1年内容				
出題内容別の傾向	植物のなかま	●	▲	▲	
	動物のなかま			●	
	物質の区別、気体の性質	●	▲		
	水溶液の性質	▲	▲		
	物質の状態変化				▲
	光の性質	●			▲
	音の性質/力のはたらき		▲		
	火山と地震		●		●
	地層と過去のようす	▲	▲	●	▲
	2年内容				
	物質の分解、原子・分子				
	物質の化学変化～酸化・還元、化学変化と熱～	▲		▲	
	化学変化と物質の質量		●	▲	●
	生物と細胞/光合成と呼吸	▲			
	根・茎・葉のつくりとはたらき/行動のしくみ	▲	●		
	消化と吸収				
	呼吸・血液の循環・排出のしくみ				▲
	3年内容				
	気象観測と空気中の水蒸気	●		▲	
	天気の変化			●	
	電流の性質		▲	▲	
	電流のはたらき	●	●	●	
出題形式別の傾向	水溶液とイオン、電池とイオン	▲	▲	▲	
	酸・アルカリとイオン	●		●	
	生物の成長とふえ方	▲	●		●
	力と運動	▲			●
	仕事とエネルギー	▲	●		●
	いろいろなエネルギー				
	天体の動きと地球の自転・公転				▲
	太陽系と惑星	●	▲		
	自然界のつり合い			●	▲
	科学技術と人間/自然と人間			●	
	大問数	5	5	5	5
	小問数	42	41	40	36
	記号解答	19	21	21	15
	短文記述	4	2	3	5
	計算問題	4	11	4	9
	図・グラフ、モデル	1	2	3	1

●…大問の主テーマとして出題された単元。 ▲…大問に1～2問程度出題された単元。